

2014年度の経営成績および財政状態の報告・分析(連結)

1. 業績の変動要因と持続成長力強化に向けた当社グループの取り組み

パーツ、デバイスおよびそれらを組み合わせたモジュール、システムを製造販売する当社グループの業績は、特に、①仕向地における景気動向(鉱工業生産、民間設備投資等)、②為替レート、③鋼材等の原材料価格等の影響を強く受けます*。これらの要因による業績の下振れリスクを完全に克服することは困難ですが、当社グループがこれまで行ってきた以下のような企業体質づくりにより、既述したリスクの低減を図るとともに、持続的成長力を高めています。

1. 事業の多角化および顧客分散

チェーンメーカーとして創業した当社は、その後、マテリアルハンドリング、自動車部品、精機へと事業を拡大。これに伴って顧客層は、機械、エネルギー・資源、食品、液晶・IT、自動車など多岐にわたる業種に分散されています。

2. 仕向地の分散

当社グループでは、特に1980年代後半から積極的なグローバル化を推進してきました。海外売上高比率は2014年度に54%となりましたが、2020年度には70%まで引き上げることを目指しています。中国など潜在成長性の高い国や地域を中心にグローバル化を推進することは、当社グループの持続成長性のさらなる向上につながります。

3. 世界最適地生産の推進

既述した仕向地の分散はメリットもある一方で、為替レートの影響を受けやすくなるデメリットが発生します。そのため当社グループは、仕向地の分散と並行して生産地の分散も積極的に進めています(2014年度の海外生産比率41.1%)。当社グループが積極的に推し進める世界最適地生産(GOP)は、為替変動のインパクトの軽減につながる上、生産コストの削減や資材調達の多様化および納期短縮を通じて、顧客満足度の向上にもつながっています。

4. 市場シェアの向上

産業用スチールチェーン、タイミングドライブシステムなど、耐久性、省エネ・環境性などの点で優位性を持ち、確固たる市場シェアを獲得した商品が当社グループには多数あります。性能・品質面での差別化を推進し、市場シェアをさらに引き上げていくという当社グループの基本戦略は、景気の下振れリスクを低減し、持続的に事業を拡大していく上での原動力となるものです。

* 当社の業績に影響を与える変動要因には、既述した3項目以外に、「災害等の自然災害」「知的財産侵害」「品質不良」「海外での政治的な混乱等」などがあります。詳細については、有価証券報告書の「事業等のリスク(http://www.tsubakimoto.jp/fileadmin/ja/ir/pdf/14_4q.pdf)」を参照ください。

2. 2014年度の経営成績および財務状態についての詳細分析（連結）

1. 経営成績のレビュー

▶ここがポイント

1. 全事業部門が増収増益を達成、売上高と利益はいずれも過去最高を更新
2. 増収効果、円安効果に加え、原価改善が順調に進み、営業利益率が大きく上昇

売上高

売上高は、1,967億38百万円（前年度比10.5%増）と2013年度に続き2期連続で過去最高を更新しました。

「チェーン事業」の売上高は前年度比10.6%増の617億21百万円となりました。国内外ともに比較的良好な事業環境の中、日本、米州、欧州をはじめ、主要地域のすべてにおいて売上を伸ばしました。特に米州と欧州では円安効果もあり、大幅な増収となっています。

「精機事業」の売上高は、前年度比4.4%増の225億57百万円となりました。日本、米州、欧州向けは堅調であったものの、中国で景気減速により特に建設関連の投資が冷え込んだ影響で天津子会社の業績が悪化し、全体では小幅な伸びとなっています。

「自動車部品事業」の売上高は、前年度比10.4%増の669億78百万円となりました。日本、米州、欧州、タイ、韓国、中国のすべての拠点で売上を伸ばしています。このうち日本では自動車販売が減少したものの、海外子会社への部品輸出が好調であったことが増収をけん引、日系自動車メーカーが不振となった中国では新規案件の獲得が寄与して増収を確保しています。

「マテハン事業」の売上高は、前年度比14.2%増の451億69百万円となりました。日本では物流業界向けシステムやライフサイエンス分野向けのシステムが堅調に推移し、欧州ではスクラップコンベヤや工作機械向けのチップコンベヤが売上を伸ばしました。

営業利益

営業利益は、214億27百万円（前年度比23.5%増）と過去最高益となりました。

人件費や減価償却費などの固定費が約59億円増加したものの、売上高の増加による効果と生産性向上による原価改善等の効果、さらには円安効果などにより、営業利益率は前年度の9.7%から1.2ポイント上昇し、10.9%となりました。

所在地別では、全地域で営業増益を達成しています。特に円安と生産性改善の効果が大きかった日本では、前年度比37.5%増の高い伸びとなりました。また、欧州の営業利益も、オランダ子会社のパワトラ商品・自動車部品の増収効果に加え、2010年に買収したカーベルシュレップ社の業績も堅調に推移したことなどから、前年度に比べ大幅な増益となりました。

当期純利益

当期純利益は、141億53百万円と前年度に比べ38.6%の大幅な増益となっています。これは主に、純金融収支が1億69百万円改善したほか、前年度に大雪被害による特別損失を計上していた反動による影響と、それに伴う受取保険金を特別利益に計上したことで、営業利益の伸び率を大幅に上回りました。

2014年度の経営成績および財政状態の報告・分析（連結）

2. 財政状態とキャッシュ・フローのレビュー

▶ここがポイント

1. 事業を拡大するも有利子負債の増加を抑制、財務基盤は一層強固に
2. 高水準な設備投資を続けながら、フリーキャッシュ・フローの黒字幅がさらに拡大

財政状態

当年度末の総資産は、前年度末比299億1百万円増の2,587億42百万円となりました。株価上昇等の効果により投資有価証券が80億37百万円増加したほか、設備投資の拡大により有形固定資産が47億61百万円増加しました。また、売上高の伸長に伴って、売掛債権（受取手形及び売掛金）と商品・製品の在庫、仕掛品、原材料などが増加しています。

当年度末の負債は、前年度末比72億38百万円増の1,144億50百万円となりました。好調な業績を反映して、未払法人税等や繰延税金負債が増えたほか、買掛債務が増加していることなどが主な要因です。有利子負債残高は、積極的な設備投資を行ったにもかかわらず、前年度末比3億69百万円の微増にとどまりました。

以上の結果、当年度末の純資産は前年度末比226億63百万円増の1,442億91百万円となりました。これらにより、当年度末におけるネットD/Eレシオは前年度末の0.13倍から0.07倍へと改善、自己資本比率は54.3%（前年度末は51.8%）へと上昇しています。

キャッシュ・フロー

売上高の増加や営業利益率等の上昇等を反映して、営業活動によるキャッシュ・フローは221億89百万円の入超と、入超額は前年度の197億61百万円からさらに拡大しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは143億6百万円の出超（前年度は171億66百万円の出超）となっています。自動車部品事業では、グローバル生産能力の増強と生産性向上のための投資を拡大、チェーン、精機、マテハンの各事業においても国内で生産性向上のための投資を進める一方で、東アジアや中国を中心に製造拠点の拡充を図っており、2014年度の設備投資額は約104億円と、2012年度以降3年連続で100億円の大台を突破しています。

以上の結果、2014年度のフリーキャッシュ・フローは、78億82百万円の入超（前年度は25億94百万円の入超）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは26億47百万円の出超（前年度は31億96百万円の出超）となっています。配当金の支払いが24億32百万円あったことなどが主因です。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
自己資本比率*1 (%)	45.3	46.9	47.3	51.8	54.3
時価ベースの自己資本比率*2 (%)	43.1	49.9	41.9	60.3	72.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率*3 (年)	1.9	2.4	2.4	1.9	1.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ*4 (倍)	24.1	21.8	30.6	41.3	60.4

*1 自己資本比率=自己資本÷総資産

*2 時価ベースの自己資本比率=株式時価総額÷総資産

*3 キャッシュ・フロー対有利子負債比率=有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

*4 インタレスト・カバレッジ・レシオ=営業キャッシュ・フロー÷利払い

事業セグメント別業績

(百万円)

		2013年度	2014年度	増減率 (%)
チェーン	売上高*	55,828	61,721	10.6
	営業利益	3,763	5,002	32.9
	営業利益率 (%)	6.7	8.1	
精機	売上高*	21,612	22,557	4.4
	営業利益	2,273	2,400	5.6
	営業利益率 (%)	10.5	10.6	
自動車部品	売上高*	60,674	66,978	10.4
	営業利益	10,119	11,916	17.8
	営業利益率 (%)	16.7	17.8	
マテハン	売上高*	39,565	45,169	14.2
	営業利益	1,192	1,940	62.8
	営業利益率 (%)	3.0	4.3	

* 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

所在地別業績

(百万円)

		2013年度	2014年度	増減率 (%)
日 本	売上高*	110,585	119,349	7.9
	営業利益	9,234	12,694	37.5
	営業利益率 (%)	8.4	10.6	
米 州	売上高*	43,551	48,749	11.9
	営業利益	3,964	4,162	5.0
	営業利益率 (%)	9.1	8.5	
欧 州	売上高*	22,056	26,545	20.4
	営業利益	471	890	89.0
	営業利益率 (%)	2.1	3.4	
環インド洋	売上高*	9,741	10,718	10.0
	営業利益	1,384	1,385	0.1
	営業利益率 (%)	14.2	12.9	
中 国	売上高*	11,044	14,062	27.3
	営業利益	954	1,008	5.7
	営業利益率 (%)	8.6	7.2	
韓国・台湾	売上高*	5,011	7,115	42.0
	営業利益	372	258	▲30.5
	営業利益率 (%)	7.4	3.6	

* 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

主要グループ会社一覧

(2015年3月31日現在)

- *1 連結子会社
- *2 特定子会社
- *3 持分法適用関連会社
- *4 非連結子会社

	資本金	持株比率	事業内容
日本			
株式会社ツバキE&M ^{*1}	460百万円	100.0%	変減速機および関連部品の製造・販売
株式会社椿本カスタムチェーン ^{*1, 2}	125百万円	99.6%	小形コンベヤチェーンおよび特殊チェーンの製造
株式会社椿本スプロケット ^{*1}	126百万円	100.0%	スプロケットおよびカップリングの製造・販売
ツバキ山久チエイン株式会社 ^{*1}	126百万円	51.0%	各種機械用チェーンおよび省力機器類等の製造・販売
株式会社椿本鋳工 ^{*1}	50百万円	100.0%	鋳鉄鋼の鋳造、加工および販売
株式会社椿本バルクシステム ^{*1}	150百万円	100.0%	粉粒体コンベヤの製造・販売
椿本メイフラン株式会社 ^{*1}	90百万円	100.0%	チップ・スクラップコンベヤの製造・販売
株式会社椿本マシナリー ^{*1 (注)}	139百万円	100.0%	当社グループ商品の国内における販売
椿本西日本株式会社 ^{*1 (注)}	90百万円	100.0%	当社グループ商品の国内における販売
株式会社ツバキサポートセンター ^{*1}	80百万円	100.0%	ビルメンテナンス、保険代理業等
株式会社ツバキフレックスリンク ^{*4}	50百万円	51.0%	フレックスリンクシステムの販売
アメリカ			
U.S. Tsubaki Holdings, Inc. ^{*1, 2 (アメリカ)}	US\$33,500千	100.0%	マテハン商品の製造・販売 当社関係会社への経営指導
U.S. Tsubaki Power Transmission, LLC ^{*1 (アメリカ)}	US\$2千	100.0%	チェーン商品、精機商品の製造・販売
U.S. Tsubaki Automotive, LLC ^{*1 (アメリカ)}	US\$2千	100.0%	自動車部品商品の製造・販売
Tsubaki Kabelschlepp America, Inc. ^{*1 (アメリカ)}	US\$100	100.0%	チェーン商品の製造・販売
Mayfran International, Incorporated ^{*1 (アメリカ)}	US\$1,000	100.0%	チップ・スクラップコンベヤの製造・販売
Tsubaki of Canada Limited ^{*1 (カナダ)}	CAN\$6,295千	100.0%	チェーン商品の製造・販売
Tsubaki Brasil Equipamentos Industriais Ltda. ^{*1 (ブラジル)}	R\$2,458千	100.0%	チェーン商品、精機商品の販売
Tsubakimoto Automotive Mexico S.A. de C.V. ^{*4 (メキシコ)}	MXN173,000千	100.0%	自動車部品商品の製造・販売
ヨーロッパ			
Tsubakimoto Europe B.V. ^{*1 (オランダ)}	EUR2,722千	100.0%	チェーン商品、精機商品、自動車部品商品の販売
Mayfran Limburg B.V. ^{*1 (オランダ)}	EUR226千	100.0%	チップ・スクラップコンベヤの製造・販売
Mayfran International B.V. ^{*1 (オランダ)}	EUR45千	100.0%	チップ・スクラップコンベヤの販売
Tsubaki Kabelschlepp GmbH ^{*1 (ドイツ)}	EUR2,600千	100.0%	チェーン商品の製造・販売
Tsubaki Deutschland GmbH ^{*1 (ドイツ)}	EUR100千	100.0%	チェーン商品、精機商品、自動車部品商品の販売
Tsubakimoto UK Limited ^{*1 (イギリス)}	STG £550千	100.0%	チェーン商品、精機商品、自動車部品商品の製造・販売
Metool Products Limited ^{*1 (イギリス)}	STG £203千	100.0%	チェーン商品の販売
Kabelschlepp Italia S.R.L. ^{*1 (イタリア)}	EUR350千	90.0%	チェーン商品、マテハン商品の販売
Kabelschlepp France S.A.R.L. ^{*1 (フランス)}	EUR165千	100.0%	チェーン商品、マテハン商品の販売
Mayfran France S.A.R.L. ^{*1 (フランス)}	EUR16千	100.0%	チップ・スクラップコンベヤの販売
Kabelschlepp Systemtechnik spol. s.r.o. ^{*1 (スロバキア)}	EUR49千	100.0%	マテハン商品の製造・販売
000 Tsubaki Kabelschlepp ^{*1 (ロシア)}	RUB6,000千	100.0%	チェーン商品の販売
アジア&オセアニア			
台湾椿本股份有限公司 ^{*1 (台湾)}	NT\$70,000千	100.0%	チェーン商品、精機商品、自動車部品商品の製造・販売
Tsubakimoto Singapore Pte. Ltd. ^{*1 (シンガポール)}	960百万円	100.0%	チェーン商品、精機商品、マテハン商品の製造・販売
PT. Tsubaki Indonesia Manufacturing ^{*1 (インドネシア)}	US\$12,400千	100.0%	マテハン商品の製造・販売
PT. Tsubaki Indonesia Trading ^{*1 (インドネシア)}	US\$520千	100.0%	チェーン商品、精機商品、マテハン商品の販売
Tsubakimoto (Thailand) Co., Ltd. ^{*1 (タイ)}	THB4,000千	95.1%	チェーン商品、精機商品の販売
Tsubakimoto Automotive (Thailand) Co., Ltd. ^{*1 (タイ)}	THB202,000千	100.0%	自動車部品商品の製造・販売
Tsubaki Power Transmission (Malaysia) Sdn. Bhd. ^{*1 (マレーシア)}	MYR1,500千	100.0%	チェーン商品、精機商品の販売
Tsubaki India Power Transmission Private Limited ^{*1 (インド)}	INR20,000千	100.0%	チェーン商品、精機商品の販売
Kabelschlepp India Private Limited ^{*1 (インド)}	INR8,897千	100.0%	チェーン商品の販売
Tsubaki Australia Pty. Limited ^{*1 (オーストラリア)}	A\$300千	100.0%	チェーン商品、精機商品の販売
椿本汽車発動機(上海)有限公司 ^{*1 (中国)}	人民元20,692千	100.0%	自動車部品商品の製造・販売
天津華盛昌齒輪有限公司 ^{*1 (中国)}	人民元87,496千	59.4%	変減速機および関連部品の製造・販売
Kabelschlepp China Co., Ltd. ^{*1 (中国)}	人民元4,610千	100.0%	チェーン商品、マテハン商品の製造・販売
椿本鏈条(天津)有限公司 ^{*1, 2 (中国)}	US\$77,000千	90.0%	チェーン商品の製造・販売
椿本誼美機械(上海)有限公司 ^{*1 (中国)}	US\$5,200千	100.0%	精機商品の製造・販売
天津椿本輸送機械有限公司 ^{*3 (中国)}	人民元8,314千	47.0%	粉粒体コンベヤの製造・販売
椿本鏈条(上海)有限公司 ^{*4 (中国)}	US\$400千	100.0%	チェーン商品、精機商品の販売
椿本美英蘭輸送機械(上海)有限公司 ^{*4 (中国)}	US\$2,220千	100.0%	チップ・スクラップコンベヤの製造・販売
上海椿本物流系統設備有限公司 ^{*4 (中国)}	US\$1,000千	90.0%	マテハン商品の設計・販売
Tsubakimoto Automotive Korea Co., Ltd. ^{*1 (韓国)}	WON17,860,000千	100.0%	自動車部品商品の製造・販売

注：(株)椿本マシナリーは2015年4月1日をもって椿本西日本(株)を吸収合併しました。

会社情報および株式情報

(2015年3月31日現在)

会社情報

会社名	株式会社椿本チエイン
創業	1917年12月
設立年月日	1941年1月31日
資本金	170億76百万円
本店所在地	大阪市北区中之島3-3-3 TEL: 06-6441-0011 (代表)
決算期	毎年3月31日

連結子会社	56社
非連結子会社	13社
関連会社	9社 (うち持分法適用関連会社1社)
従業員数*	連結 7,398名
工場	京田辺・埼玉・京都・兵庫
支社	東京・名古屋・大阪
営業所	札幌・仙台・大宮・横浜・静岡・ 豊田・北陸・四国・広島・九州

* 従業員数には契約社員、パート、アルバイト等を含んでいます。

株式情報

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
上場証券取引所	東証1部

株式数

発行可能株式総数	299,000,000株
発行済株式総数	191,406,969株

株主数 9,339名

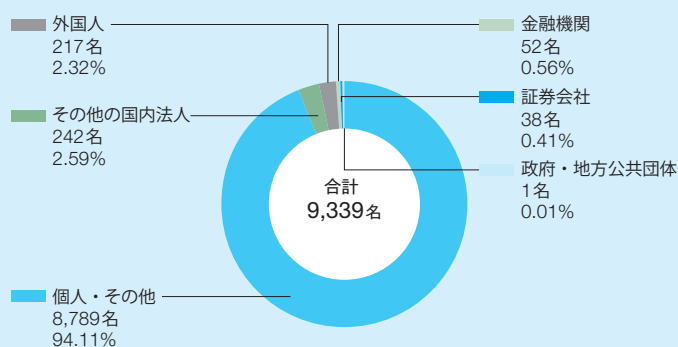
大株主(上位10社)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
太陽生命保険株式会社	18,398	9.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,966	5.86
日本生命保険相互会社	9,850	5.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,320	4.44
トヨタ自動車株式会社	7,722	4.12
株式会社三井住友銀行	7,034	3.75
椿本チエイン持株共栄会	6,107	3.26
椿本興業株式会社	5,194	2.77
三井住友信託銀行株式会社	4,245	2.26
BBH FOR BBHTSIA NOMURA FUNDS IRELAND PLC / JAPAN STRATEGIC VALUE FUND	3,695	1.97

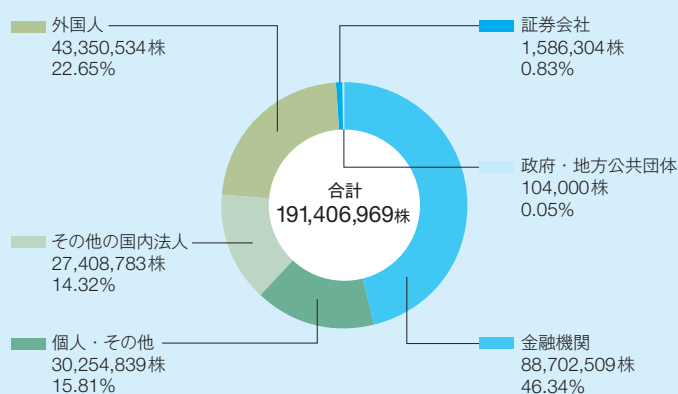
1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2. 当社は自己株式4,311,895株を保有していますが、上記大株主には含めていません。
3. 持株比率は、自己株式4,311,895株を控除して計算しています。

株式の所有者別分布状況

株主数



所有株式数



自己株式4,311,895株は、「個人・その他」に含めています。

コーポレートレポートに
関する問い合わせ先

社長室 広報・IR課 TEL: 06-6441-0054

pr-sec@tsubakimoto.co.jp